

V. 【解答】

1. (ロ) 2. (ロ) 3. (イ) 4. (ロ) 5. (ハ)

【解説】

1. superior (より優れた) に注目。いわゆる「ラテン比較級」は“to ~”で比較対象を表す。その他、語尾“ior”で終わる「ラテン語系形容詞」senior (より年上の)、junior (より若年の)、inferior (より劣った) は、すべて“to ~”で受ける。
2. 「彼女は私がネットショップで随時計を買ったかどうかを尋ねた。」当然、asked (尋ねた) 時よりもさらに過去の内容を指しているので、過去完了形の“had bought”が正しい。“online”は「ネット(ショップ)」で「₁」。
3. worth には前置詞の用法がある。よって、動名詞形の reading が正しい。
4. 「誰がマラソン大会で金メダルを取ったと思う？」を表す間接疑問。Yes / No で答えられない「予想を尋ねる間接疑問」(つまり「疑問詞＋と思いますか?)」なので、文頭は疑問詞でなければならない。Do you think who～とはならないので注意。
例) Do you know where he comes from? (彼はどこ出身か知ってますか) 答えは Yes / No。
例) Where do you think he comes from? (彼はどこ出身だと思いますか) 答えは「出身地」。
5. まず、movie は可算名詞なので不定冠詞の a がつく。この時点で(イ)は消える。(ロ)は語順がおかしい。ちなみに、形容詞 such は名詞(句)を修飾するため、“such a (wonderful) movie”となるが、such の部分を so で言いかえた場合、副詞 so は形容詞 wonderful を修飾するため、“so wonderful (a movie)”という語順となることも覚えておきたい。

【解答のポイント】

文法力を問う問題。いずれも基本的な問題集に載っているもので、今回の5問中1問でも落とすようでは、文法力が不足している。基礎的な文法問題を1冊仕上げさえすれば、対策としては万全だろう。設問の4.は類出。